

学びの杜通信

第49号 平成31年2月22日発行



栃木県教育研究発表大会レポート

広げます

平成30(2018)年度栃木県教育研究発表大会〔1月25日(金)・26日(土)〕が、延べ944名の御参加をいただき、盛会のうちに終了しました。御発表、御参加いただいた皆様、御協力いただいた関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。

今年度は、18の部会において、県内の学校等による先進的な実践発表や、発表に基づいた研究協議が行われました。

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践や小学校外国語教育、プログラミング教育、主権者教育などをテーマにした研究発表等も行われ

ました。特別支援教育部会では、「自立活動の指導の在り方 ～実践から考える～」というテーマで、小学校と特別支援学校の実践発表等を通して、自立活動の指導における重要な視点について理解を深めました。参加者は、研究協議で積極的に意見を出し合い、最後に宇都宮大学教育学部の岡澤慎一准教授から指導助言をいただきました。

なお、「とちぎの教育未来塾」からは延べ79名の塾生の参加があり、研究協議等で他の参加者と熱心に意見を交わす姿が見られました。1年で最も寒い時季でしたが、どの会場も熱気にあふれていました。



特別支援教育部会での協議の様子

<各部会における参加者の声を紹介します>

★学校を運営していく上で参考になること、取り入れられることなど、有意義な発表内容でした。次年度も参加したいと思いました。

★それぞれの実践の裏付けや蓄積があるだけに、大変内容の濃い発表でした。これからの時代に必要な授業の在り方を教えていただく機会となりました。

★初めて大会に参加しました。土曜日にも関わらず、たくさんの仲間が出席していて、皆頑張っているのだと感じました。今日の学びを現場で生かしていきたいです。

★不登校について、県内のこれだけの先生方が集まって考え合うことに意義があります。指導資料が活用され、少しでも多くの子どもが幸せになることを願います。

★県や学校が取り組んでいる研究について、県全体に周知を図ることが必要だと思えます。取組や研究の成果について情報の共有を進めることが、次のステップにつながるため、本研究発表大会は大きな意義があると思えました。

★異なる校種の方々と意見を交える機会がこれまでなかなかなかったため、とても有意義な時間となりました。

第72回栃木県理科研究展覧会並びに発表会

支えます

栃木県理科研究展覧会並びに発表会は、「児童生徒の科学する心を育成し、本県理科教育の振興を図る」ことを趣旨とし、昭和22年から続いています。

本年度は、「第72回栃木県理科研究展覧会並びに発表会」の中央展覧会審査が2月1日（金）に行われ、2日（土）と3日（日）の2日間にわたり、栃木県子ども総合科学館で展示が行われました。応募総数3,562点の中から中央展覧会審査会に出品された88点のうち、27点が最優秀賞に輝きました。応募された作品はどれも大変すばらしいものでした。

また中央発表会は、2月15日（金）に栃木県総合教育センターで行われました。応募総数80点の中から13点が中央発表会審査会に進み、そのうち6点が最優秀賞に輝きました。

2月15日（金）には、この中央展覧会と中央発表会で選ばれた最優秀賞の受賞者に対し、表彰式が行われました。



中央展覧会の様子



中央発表会の様子

<今年度の作品の傾向を紹介します>

- 展覧会
 - ・日常生活の中で疑問に感じたことからスタートし、身近な事象に対して解決に向け主体的に取り組んでいる。
 - ・継続研究で以前疑問に思ったことを解決するために多くのデータを集めている。
 - ・仮説を立てて科学的に探究し、結果等をわかりやすく表現している。
- 発表会
 - ・実際に実演して見せたり、研究の過程をビデオ等を用いて映像で示したりしている。
 - ・情報機器を効果的に活用して、限られた時間の中でわかりやすく伝えている。
 - ・対照実験を行うなどして深く考察している。

なお、第72回栃木県理科研究展覧会並びに発表会の結果については、栃木県総合教育センターWebサイトで公開しています。

→Click!

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h30-rikakenkyu/tenrankai.htm>

【問合せ先】 研修部 (Tel 028-665-7202)



◆◆◆ 情報提供 ◆◆◆

文部科学省「学習指導要領ウェブサイト」がリニューアルオープンしました。新しい学習指導要領の全面実施に向けて、参考となる情報が掲載されています。

- ・学習指導要領の基本的なこと
- ・学習指導要領のくわしい内容
- ・授業改善のための参考資料
- ・教育課程に関連する調査、研究事業等



生きる力 学びの、その先へ



http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm

○この通信に関する御意見・御感想をお待ちしています。入力・送信は [こちら](#) から

・センターホームページ (TOP) は、[こちら](#) ・学びの杜通信のバックナンバーは、[こちら](#)